

人物書誌大系 46

# 梶井基次郎

北川眞美子編



梶井基次郎（大正13年23歳、第三高等学校時代）

口絵：『新潮日本文学アルバム 27 梶井基次郎』より

## 目 次

凡 例 .....	(4)
I 概 説 .....	1
II 梶井基次郎年譜 .....	7
III 著作目録（出版年月順） .....	21
付：教科書採録作品 .....	62
IV 研究・参考文献目録（出版年月順） .....	73
付：翻訳・外国語研究文献 .....	227
V 索 引 .....	237
作品名索引 .....	239
著者索引 .....	249
研究書（単行本）一覽 .....	263
雑誌特集号一覽 .....	266

# 凡 例

## 1. 本書の概要

本書は、梶井基次郎（1901年（明治34年）2月17日 - 1932年（昭和7年）3月24日）の全著作および研究文献・批評・紹介記事などの参考文献を網羅した個人書誌である。全体の構成は以下の通り。

- I 概 説
- II 梶井基次郎年譜
- III 著作目録（出版年月順）  
付：教科書採録作品
- IV 研究・参考文献目録（出版年月順）  
付：翻訳・外国語研究文献
- V 索 引  
作品名索引  
著者索引  
研究書（単行本）一覧  
雑誌特集号一覧

## 2. 共通事項

- 1) III～IVの各編に通し番号（A～Dの記号付き文献番号）を、各文献の前に示した。
- 2) 文献の排列は原則として出版年月順に従った。但し、正確な時期が未詳のものについては妥当と思われる時期に排列した。
- 3) II年譜、III付：教科書採録作品、IV付：翻訳・外国語研究文献の章末には、各々の参照文献を示した。また、IVの末尾には全体の参照文献を示した。
- 4) 文献の記載事項は以下の通り。

### 図書（単行本）

著者・編者 『書名』 出版地（東京省略） 出版者 出版年月 ページ数 大きさ（シリーズ名 シリーズ番号）  
〈内容〉収録著作名（著者） ページ付（該当ページ）

### 論文

著者 論文名 『雑誌名』巻号（通巻号） 年月号（月刊誌は出版年月より優先）、巻次・年次・年版表示 出版年月 出版地（東京省略） 編者・出版者 ページ付（該当ページ）

著者 論文名 『書名』 著者・編者 出版地（東京省略） 出版者 出版年月 ページ数 大きさ（シリーズ名 シリーズ番号） ページ付（該当ページ）

### 新聞記事

著者 記事見出し 『新聞紙名』 年月日 朝・夕刊（面） 出版者

### <資料種別> 記載事項の先頭に表示

- Ⓧ…図書（単行本）・図書掲載作品・論文・記事
- Ⓧ…雑誌掲載作品・論文・記事
- Ⓧ…新聞記事

### <補記について>

（初出）（再掲）（遺稿）（草稿）等…タイトルの後に表示  
[録音資料] [映像資料] [電子資料] [大活字本] 等…タイトルの後に表示  
[博士論文] [書評] [小説] [詩] [書簡] [日記] [漫画] 等…タイトルの後に表示  
[所蔵館見当たらず・未見] [〇〇図書館蔵・未見] 等…記載事項の後に表示  
[作品名]（タイトルに作品名が出ていない作品論など）…記載事項の後に表示

## 3. 索引

### 1) 作品名索引

「III 著作目録」「IV 研究・参考文献目録」に記載された項目から作品名を取り上げ、五十音順に排列し、文献番号を示した。

### 2) 著者索引

「III 著作目録」「IV 研究・参考文献目録」に記載された項目から著者名を取り上げ、五十音順に排列し、文献番号を示した。

### 3) 研究書（単行本）一覧

「IV 研究・参考文献目録」に記載された項目から梶井基次郎に関する研究書（単行本）を取り上げ、出版年月順に排列し、文献番号を示した。

### 4) 雑誌特集号一覧

「IV 研究・参考文献目録」に記載された項目から梶井基次郎に関する雑誌の特集号を取り上げ、出版年月順に排列し、文献番号を示した。

## 梶井基次郎年譜

明治34年(1901) 0歳

2月17日、父・宗太郎、母・ヒサの次男として、大阪市西区土佐堀通5丁目34番屋敷(現・大阪府西区土佐堀3丁目3番地)に生まれる。姉・富士と兄・謙一がいた。後に、芳雄、勇、良吉の三弟生まれる。父・宗太郎は安田運搬所(海運会社)社員。家は会社の西隣にあり。父方の祖母・スエ、母方の祖父・秀吉と同居。母・ヒサは、梶井秀吉の養女で、宗太郎は秀吉の親族、大阪高等女学校附属保母養成所を出て、幼稚園保母として勤務。

9月、異母弟の順三(網干姓)が生まれる。もと芸者との子。父・宗太郎は当時の軍需景気の会社の接待で、酒色に親しむようになっていた。

明治37年(1904) 満3歳

2月、日露開戦に伴い、安田運搬所は大砲の輸送で潤い、父・宗太郎は接待で茶屋に居続けるなど、ますます家庭を顧みなくなった。

明治38年(1905) 4歳

10月、一家は大阪市西区江戸堀南通4丁目29番地(現・江戸堀2丁目8番地)に転居。

〈社会〉

9月、日露講和条約調印。

明治39年(1906) 5歳

1月、弟・芳雄生まれる。

明治40年(1907) 6歳

4月、大阪市西区江戸堀尋常小学校に入学。母・ヒサは幼稚園保母を辞め、家事に専念。

明治41年(1908) 7歳

1月、急性腎臓炎に罹り死にかけた。次弟の勇生まれる。

明治42年(1909) 8歳

12月、父の安田商事合名会社東京本店への転勤に伴い、一家は、祖父・秀吉を残して上京。芝区二本榎西町3番地(現・港区高輪2丁目6番地)に移る。

明治43年(1910) 9歳

1月、芝区白金の私立頌栄尋常小学校の第三学年に転入。父は左遷されたと酒ばかり飲み、やがて順三母子や、その養祖母まで東京に呼び寄せ、家計は逼

迫する。

9月、末弟の良吉が生まれる。

〈社会〉

8月、韓国併合。

明治44年(1911) 10歳

5月、父が安田系の鳥羽造船所に出向し、一家は三重県志摩郡鳥羽町大字鳥羽1726番地(現・鳥羽市鳥羽3丁目7番地)の社宅に転居。鳥羽尋常小学校第五学年に転入。東京で「大阪っぺ」とからかわれていたのが、一転して明るく健康な日々を過ごす。異母弟・順三の母が東京で病死し、順三とその養祖母を引き取る。順三は基次郎の1年下に編入。

〈社会〉

1月、大逆事件判決。幸徳秋水らの死刑執行。

明治45年・大正元年(1912) 11歳

3月、第五学年を修了。成績は全甲。無欠席。

4月、六学年に進級し、級長に選ばれる。

〈社会〉

9月、乃木大将夫妻殉死。

大正2年(1913) 12歳

2月、ヒサの養父・梶井秀吉が、大阪で亡くなり、ヒサに千円を残す。

3月、鳥羽小学校尋常科卒業。成績は全甲。病気による欠席は0。

4月、三重県立第四中学校へ入学。兄の下宿先、宇治山田市一志町の杉本方から通学。

6月、祖母スエが肺結核で亡くなる。

10月、父が大阪の安田鉄工所に転任になったため、一家は大阪市本庄西権現町1191番地(現・北区鶴野町1番地)に引っ越す。謙一と基次郎は宇治山田市の下宿に残る。

〈社会〉

2月、護憲運動で、桂内閣総辞職。大正デモクラシーの始まり。

大正3年(1914) 13歳

2月、一家は大阪市西区鞠南通2丁目35番地(現・西区西本町1丁目8番21号)に転居。

3月、中学第一学年を修了して、兄・謙一とともに鞠南通の家へ。

4月、大阪府立北野中学校の転入試験を受けて合格。第二学年に転入。兄と

## 大正2年(1913)

- A0001 ㊦ 秋の曙  
 『校友』[三重県立第四中学校校友会雑誌] 14号 大正2.10 [所蔵館見  
 当たらず、『梶井基次郎全集 第1巻』筑摩書房 1999.11 p335 所  
 収]

## 大正12年(1923)

- A0002 ㊦ 奎吉  
 『眞素木』[第三高等學校演劇研究會回覧雑誌] 1号 大正12.6 [所蔵  
 館見当たらず、全集には収載]
- A0003 ㊦ 矛盾の様な眞實  
 『嶽水會雑誌』[第三高等學校校友会雑誌] 84号 大正12.7 第三高等  
 學校嶽水會 中外書房 p38~44

## 大正14年(1925)

- A0004 ㊦ 檸檬  
 〈初出〉『青空』1巻1号(通巻1号) 大正14.1 青空社 p1~31
- A0005 ㊦ 城のある町にて  
 〈初出〉『青空』1巻2号(通巻2号) 大正14.2 青空社 p30~69
- A0006 ㊦ 泥濘  
 〈初出〉『青空』1巻5号(通巻5号) 大正14.7 青空社 p31~44
- A0007 ㊦ 路上(目黒雜記の一)  
 〈初出〉『青空』1巻8号(通巻8号) 大正14.10 青空社 p30~38
- A0008 ㊦ 椽の花—或る私信—  
 〈初出〉『青空』1巻9号(通巻9号) 大正14.11 青空社 p42~63

## 大正15年・昭和元年(1926)

- A0009 ㊦ 過古—目黒雜記の二  
 〈初出〉『青空』2巻1号(通巻11号) 大正15.1 青空社 p15~18
- A0010 ㊦ 講演會其他 雜記  
 『青空』2巻2号(通巻12号) 大正15.2 青空社 p47
- A0011 ㊦ 編輯後記  
 『青空』2巻3号(通巻13号) 大正15.3 青空社 p[47]
- A0012 ㊦ 編輯後記  
 『青空』2巻4号(通巻14号) 大正15.4 青空社 p69
- A0013 ㊦ 雪後

- 〈初出〉『青空』2巻6号(通巻16号) 大正15.6 青空社 p50~64
- A0014 ㊦ 忽那に就て 同人印象記  
 『青空』2巻6号(通巻16号) 大正15.6 青空社 p74~75
- A0015 ㊦ 飯島に就て 同人印象記  
 『青空』2巻6号(通巻16号) 大正15.6 青空社 p82~83
- A0016 ㊦ 川端康成第四短篇集「心中」を主題とせるヴァリエーション  
 『青空』2巻7号(通巻17号) 大正15.7 青空社 p63~69
- A0017 ㊦ ある心の風景  
 〈初出〉『青空』2巻8号(通巻18号) 大正15.8 青空社 p52~65
- A0018 ㊦ 編輯後記  
 『青空』2巻9号(通巻19号) 大正15.9 青空社 p54~55
- A0019 ㊦ Kの昇天(或はKの溺死)  
 〈初出〉『青空』2巻10号(通巻20号) 大正15.10 青空社 p1~10
- A0020 ㊦ 『新潮』十月新人號小説評  
 『青空』2巻11号(通巻21号) 大正15.11 青空社 p63~67

## 昭和2年(1927)

- A0021 ㊦ 青空語  
 『青空』3巻1号(通巻23号) 大正16(ママ).1 青空社 p43
- A0022 ㊦ 編輯後記  
 『青空』3巻1号(通巻23号) 大正16(ママ).1 青空社 p[59]
- A0023 ㊦ 冬の日(未完)  
 〈初出〉『青空』3巻2号(通巻24号) 昭和2.2 青空社 p34~41
- A0024 ㊦ 冬の日 三(続き)~六(未完)  
 〈初出〉『青空』3巻4号(通巻26号) 昭和2.4 青空社 p4~15
- A0025 ㊦ 『亞』の回想  
 『亞』35号(終刊号) 大連 亞社 昭和2.12 卷末(頁付なし)

## 昭和3年(1928)

- A0026 ㊦ 鏡の話  
 〈初出〉『近代風景』3巻2号 昭和3.2 アルス p58~60
- A0027 ㊦ 蒼穹  
 〈初出〉『文藝都市』1巻2号 昭和3.3 新人俱樂部 p55~58
- A0028 ㊦ 冬の蠅  
 〈初出〉『創作月刊』1巻4号 昭和3.5 文芸春秋社 p39~48
- A0029 ㊦ 器樂的幻覺  
 〈初出〉『近代風景』3巻5号 昭和3.5 アルス p85~87
- A0030 ㊦ ある崖上の感情

\* 著作目録に掲載された文献に付されている参考文献は、ここには重複して掲載していません。  
著作目録をご覧ください。

## 大正 14 年 (1925)

- C0431 ④ 外村茂 中谷・梶井のこと 雑記  
『青空』1巻9号(通巻9号) 大正14.11 青空社 p67~68 (p67)
- C0432 ④ 快談、同人(座談会) 外村, 浅沼, 梶井, 淀野, 中谷, 忽那, 金子, 小林  
『青空』1巻10号(通巻10号) 大正14.12 青空社 p58~59
- C0433 ④ 外村茂 不二の東洋美術展を觀る 眞素木  
『青空』1巻10号(通巻10号) 大正14.12 青空社 p54~56 (p54)

## 大正 15 年 (1926)

- C0434 ④ 小林馨 無題  
『青空』2巻1号(通巻11号) 大正15.1 青空社 p55~57
- C0435 ④ 外村茂 六號雜記  
『青空』2巻3号(通巻13号) 大正15.3 青空社 p42~45 (p44)
- C0436 ④ 外村茂 梶井を描く  
『青空』2巻6号(通巻16号) 大正15.6 青空社 p75~77

## 昭和 2 年 (1927)

- C0437 ④ 百田宗治 詩のある作家 丸山梶井二君の散文に就て  
『文藝時報』28号 昭和2年2月24日(3面) 文藝時報社 [冬の日]
- C0438 ④ 小野勇 湯ヶ島日記  
『辻馬車』3巻4号(通巻26号) 昭和2.4 大阪 波屋書房 p43
- C0439 ④ 川端康成 「伊豆の踊子」の装幀その他  
『文藝時代』4巻5号 昭和2.5 金星堂 p40~48 (p47)
- C0440 ④ 青空合評會 第一回 「冬の日」(青空) 梶井基次郎  
『青空』3巻5号(通巻27号) 昭和2.5 青空社 p26
- C0441 ④ 北神正 伊豆のいきもの(湯ヶ島其他)  
『青空』3巻5号(通巻27号) 昭和2.5 青空社 p35~40
- C0442 ④ 三好達治 街—梶井基次郎に物語るために— [詩]  
『青空』3巻5号(通巻27号) 昭和2.5 青空社 p18~19
- C0443 ④ 尾崎士郎 河鹿 [小説] 鶴鴿の巢そのほか  
『新潮』24年9号 昭和2.9 新潮社 p34~43 (p38~43)

## 昭和 3 年 (1928)

- C0444 ④ 亞坂健吉(北園克衛) 合評會拾遺  
『文藝都市』1巻3号 昭和3.5 新人俱樂部 p37~38 [蒼穹]
- C0445 ④ 阿部知二 合評會拾遺 ウルトラ漫談  
『文藝都市』1巻3号 昭和3.5 新人俱樂部 p38~39
- C0446 ④ 浅見淵 梶井基次郎君の印象  
『文藝都市』1巻6号 昭和3.7 新人俱樂部 p59~63 [冬の日]
- C0447 ④ 同人雜誌短評 其の一  
『文藝都市』7月号 「或(ママ)る崖上の感情」梶井基次郎 『大學左派』1巻2号 昭和3.8 大學左派編輯所 p15 [ある崖上の感情]
- C0448 ④ 米谷利夫 創作月評 文藝都市七月號 ある崖上の感情 梶井基次郎  
『薔薇派』1年6号 昭和3.8 西宮 薔薇派發行所 p49~50 (p50)
- C0449 ④ 井伏鱒二 或ひは失言?  
『薔薇派』1年7号 昭和3.10 西宮 薔薇派發行所 p42~43 (p43)  
[ある崖上の感情]

## 昭和 4 年 (1929)

- C0450 ④ 尾崎士郎 悲劇を探す男 [小説]  
『中央公論』44年1号(通巻492号) 昭和4.1 中央公論社 p63~95
- C0451 ④ 大宅壮一 後繼作家論—序説—藝術派—プロレタリア派—  
『文學時代』1巻6号 昭和4.10 新潮社 p24~31 (p27)

## 昭和 5 年 (1930)

- C0452 ④ 座談會 後繼文壇に就いて語る 第七十七回新潮合評會 岡田三郎, 川端康成, 片岡鉄平, 尾崎士郎, 大宅壮一, 加藤武雄  
『新潮』27年1号特大号 昭和5.1 新潮社 p126~145 (p136)
- C0453 ④ 川端康成 作家と作品 梶井基次郎氏の「愛撫」  
『作品』1巻3号(通巻3号) 昭和5.7 作品社 p49~51 (p49)
- C0454 ④ 川端康成 文藝時評 芸術派作品を評す(一) 新作家の作品  
『讀賣新聞』昭和5年9月27日(4面) 讀賣新聞社 [闇の絵巻]
- C0455 ④ 永井龍男 昭和五年度の傑作は何か  
『作品』1巻8号(通巻8号) 昭和5.12 作品社 p72~76 (p74)

## 昭和 6 年 (1931)

- C0456 ④ 座談會 一月の作品—一人一作評— 河上徹太郎, 今日出海, 永井龍男, 中村正常, 小野松二  
『作品』2巻2号(通巻10号) 昭和6.2 作品社 p83~84 (p83)

## 北川眞美子（きたがわ・まみこ）

1948年東京都大田区生まれ。1972年東京学芸大学国語科卒。卒論は「梶井基次郎論」。1972年東京都立日比谷図書館、翌73年より2006年まで都立中央図書館、その後2010年まで嘱託で図書館司書として38年間勤務。勤務の傍ら、梶井基次郎をテーマに「梶井基次郎関係文献目録」の制作に着手、退職後も図書館調査を重ねて研究を続ける。2010年より大田区の「馬込文士村」ボランティアガイドを務める。

---

人物書誌大系 46

## 梶井基次郎

---

2020年10月25日 第1刷発行

---

編者／北川眞美子

発行者／山下浩

発行／日外アソシエーツ株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 鈴中ビル大森アネックス

電話 (03)3763-5241 (代表) FAX(03)3764-0845

URL <http://www.nichigai.co.jp/>

---

©Mamiko KITAGAWA 2020

印刷・製本／株式会社平河工業社

---

不許複製・禁無断転載

〈中性紙H-三菱青精用紙イエロー使用〉

<落丁・乱丁本はお取り替えます>

ISBN978-4-8169-2849-9

Printed in Japan, 2020